

学校生活における新型コロナウイルス感染症対策として

＊以下のことを確認し、行動しましょう

1. 登校前

- 就寝前に平熱より+1℃高い、発熱(37.5以上)、鼻水、咳、倦怠感、味覚・臭覚異常などの症状や体調不良を感じた場合、次の日は自宅待機をする。
- 毎朝、登校前に検温や健康観察を行い、上記の症状がある場合は自宅待機をする。

2. 通学时

- 登下校時は、熱中症対策を優先して、マスクを外すこと。
※マスクを外した場合では、身体距離(2m程度)を十分にとることや、近距離による大声での会話は控えること。

3. 登校後

- 教室の入室の際は、必ず手指消毒を行う。

4. 授業時

- 必ず、マスクを着用する。
※鼻マスク、あごマスク厳禁
- 対面に座ることは出来るだけ避け、人と人の距離を十分に空ける。(1m以上)
- 身体的活動がある授業(体育や実習)では熱中症予防のため、マスクは外して活動を行う。ただし、感染への不安がある場合はマスクを着用すること。
※マスクを外す場合は大きな声でしゃべらない。
- 教室の換気はロスナイ(熱交換換気)があるが、必要であれば廊下側と窓側を対角に20cm以上開ける。

5. 休み時間

- 教室等の入退室の際は、必ず手指消毒を行う。
- 教室の換気は保健委員の呼びかけで休み時間ごとに行う。
※移動教室やトイレの際も必ずマスクを着用する。

6. 昼休み時間

- 食事のためにマスクを外す場合は、自分の席で黒板の方を向いて食べる。(黙食)
※会話をする場合は、食事後にマスクを着用して行う。

7. 部活動(特に運動部活動)

- 開始前、終了後に顧問の指示のもと、検温・手指消毒・うがいを行う。
- 生徒は、原則、マスクを外して良いが、気になる生徒はマスクを着用する。
- 部室の着替え利用は少人数での更衣とする。
- 活動中は大きな発声をひかえる。
- 終了後は使用器具等の消毒を行う。